

子どもの幸福度ランキング1位のオランダで学ぶイエナプラン教育

近藤雅大 (2年)
2018年3月9日～2018年3月16日

渡航先での活動内容



日本語補習授業校



イエナプラン教育研修施設



イエナプラン教育研修の様子

はじめにAmsterdamにある日本人学校に訪問。その後Echtenにある研修所でイエナプラン教育研修に参加。

イエナプラン研修では、現地の講師の方から講義を受け、5人チームで「日本でイエナプラン教育を実践する学校を建設するとき、どんな学校にするべきか」というテーマでグループワークを行いました。実際に現地校に見学に行き、子どもたちと交流する機会もありました。



Woldstroom イエナプラン教育実施校①



de kring イエナプラン教育実施校②

3月10日 アムステルダム日本語補習校への訪問
3月11日～ イエナプラン教育研修

研修の目的と評価

研修の目的

- ① 日蘭における教育の背景にある違いを学ぶ
- ② 障害児を含めたインクルーシブ教育実現への課題を学ぶ

評価

① 日蘭における教育の背景にある違いについては学ぶことができたといえる。オランダ教育に精通しているリヒデルズ尚子さんからオランダにおける教育の歴史について伺うことができ、さらに研修参加者同士で日本の教育の歴史についてもディスカッションすることで理解が深まりました。

② 十分に学ぶことができなかった。イエナプラン教育の概要について学ぶ事にとどまり、障害のある子どもを含めた教育の形として優れているのかどうかという観点で考えられませんでした。

グローバルな視点とは何か

グローバルな視点とは、日本と海外での事例をどちらも同じように客観的に見ることができると感じています。

将来への進路決定へどう影響したか

今まで海外に行ったことがなく英語に不安を感じていましたが、今回の研修で海外へのハードルは下がったように感じます。西欧の事例でも良い側面と悪い側面があることを身をもって知ることができ、より批判的な視点から物事を見られるようになりました。

反省点

- ・自分の専門性が弱く、興味のある分野については日頃から学習しておくべきでした。
- ・教育に関わる大人からの話は聞くことができましたが、実際に子どもたちがどう感じているのか直接聞くことができませんでした。

後輩へのアドバイス

現地校に行くときは向こうの言葉を最低限覚えておくと思いしました。低学年だと多くの子が英語を話せず、コミュニケーションをとるのが難しかったです。

研修支援制度に望むこと

学生にとって素晴らしい制度だと思います。手厚く支援して下さいありがとうございます。